

みどり

編集と発行
伊奈町人権教育
推進協議会
(TEL 048(721)2111)
伊奈町教育委員会内



人権講座『マイクロアグレッション～無意識の偏見・差別』より

『い～な 人権尊重のまち』

車の運転で、交差点の止まれの標識があったとき、皆さんはどこで止まりますか。

停止線を越えて、交差点ぎりぎりのところで止まる方も多いのではないのでしょうか。私は必ず停止線の前で止まり、心の中で「1、2、3」と数えてから交差点内に入るようにしています。そうすると、交差点の様子がよく確認できます。しっかり止まって、確認すれば、防げる事故は多くなると思います。人権問題も同じことが言えるのではないのでしょうか。発言する前に相手のことを良く考えて発言する。そうすれば、防げる差別も多くなると思うのです。町で実施している人権講座は、「人権感覚を磨くために」をテーマに毎年実施しています。

これからも、町のキャッチフレーズの『い～な 人権尊重のまち』の実現を目指し、人権教育の推進に取り組んで参りますので、町民の皆様の積極的な参加をお願いいたします。

伊奈町人権教育推進協議会 会長 高山 貢 一

令和6年度『人権講座～人権感覚を磨くために』

本年度も「人権感覚を磨くために」をテーマに、人権講座を3回開催しました。「人権感覚を磨く」というテーマは、人権に対する感覚を研ぎ澄ますということもありますが、錆びつきそうになった、忘れそうになった人権感覚を錆びつかせない、思い出すということにも重きを置き、毎年開催しています。以下、令和6年度の報告です。

回	期 日	内 容	参加者
1	9月27日(金) 14時～16時	マイクロアグレッション ～ 無意識の偏見・差別 大東文化大学教授 渡辺 雅之 氏 ※人権啓発DVD視聴「言葉があるから…」	40人
2	10月3日(木) 14時～15時30分	人権のお話とマジックショー プロマジシャンでLGBTQとして生きる ALICEちゃん	37人
3	10月16日(水) 14時～16時	人権感覚を磨くために 町社会教育指導員 関口 育也 氏 ※人権啓発DVD視聴「よかったら『想い』を聴かせて」	29人

第1回 『マイクロアグレッション～無意識な偏見、差別』



誰かを差別したり、傷つけたりする意図があるなしとは関係なく、受け手の心にダメージを与える言動となるマイクロアグレッション。それを防ぐために、気づくことの大切さを考えました。

感想

意識していなかった視点に気づくこともあり、自分の生活、発言等を見直す機会となった。状況、人間関係によって発言の捉えられ方が変わることも改めて確認できた。話もイメージしやすいものが多く、わかりやすい内容だった。

第2回 『人権のお話とマジックショー』

プロマジシャンとして活躍しているALICEちゃん。体を張ったマジックショーを演じながら、自らの体験をまじえてLGBTQの状態について、お話していただきました。

感想

- ・それぞれの意見や経験をたくさん聞くことが、一人ひとりを尊重することだと気づけた。
- ・よかれと思ってかけた言葉が、かえって迷惑になってしまうかもしれないことに気づき、難しさを感じた。



第3回 『人権感覚を磨くために』



リフレーミング(物事の捉え方の視点を変えたりして言い換え等を行い、意図的に自分や相手の生き方をポジティブなものに変えていく手法)について、グループワークを行いながら、楽しく学びました。

感想

人権をリフレーミングという手法で、初対面の方を身近に知るきっかけを作ることができた。相手を知ることということがとても大切だと感じた。

フレンドシップセミナー(小中学生学級)

さいたま市五反田会館チャレンジの会の皆さんの指導の下、制作活動(ピグレザーのペンケース作り)を通して、異学年との交流を図りながら人権について考えました。

実施日時 令和6年8月6日(火)
会場 伊奈中央会館
参加者 小学生 12人、中学生 3人、計 15人



- 内 容**
- ・講師から、皮についてのお話。
 - ・ペンケース作りの作業。
 - ・でき上がった作品の観賞会を行いながら、人権について考えました。

感 想

- ・革だけでペンケースが作れることに驚きました。皮と革の違いや豚が無駄なく使われていることも知りました。
- ・人それぞれの特徴でペンケースの色や飾りがすべて変わっていたので、とても驚きました。
- ・ペンケース作りを通して「個性」を生かすことが大切だと思いました。



島崎藤村の不朽の名作「破戒」の人権映画会を開催しました

町民の皆さんが部落差別のない心豊かな社会について考える機会とするために、北足立北部地区人権教育推進協議会が所有している人権啓発DVDを利用し、上映会を開催しました。令和6年11月9日(土)の総合文化祭の会場(総合センター大ホール)において午前、午後の2回開催し、70名の方の参加がありました。



人権啓発DVDを購入しました



『大切なひと』

**ネット社会における部落差別と人権
 ～誰もが一人の人間として尊重される社会の実現を目指して～**

インターネット上の一部の情報が誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現を目指すことを目的として製作された人権啓発ドラマです。

町教育委員会では、いつでも人権について学習できるよう「人権啓発DVD」を無料で貸出しております。団体等での研修会にも是非ご利用ください。DVDの目録やご利用方法は、町のホームページでご覧いただけます。



町ホームページ
 (人権啓発DVD)

令和6年度 人権標語

町立小・中学校児童・生徒作品

町内の小・中学生に自分の人権だけでなく、周りの人の人権についても大切なことに気づき、考えてもらいたいと思い、人権標語を募集し、各学校3点の優秀作品を選定してもらいました。

作品はポスターにして、町内の掲示板や関係機関に掲示しました。(敬称略)

伊奈中学校

誰かに助けを 求めていいんだよ
君は一人の人間なのだから
1年 西塚 理乃

傷ついた心 私が救うよ 何度もね
2年 佐藤 さくら

その行動 人を幸せに できますか?
3年 坂下 望十花

小針中学校

いじめの現場 目をつぶらずに 芽をつぶそう
1年 伊村 優花

みかけたら その手で漕ぎ出せ 助け船
2年 三浦 壮悟

これが好き あれが好き あなたの好きに きまりはない
3年 齊藤 千咲

南中学校

人権は みんなが生きてる 大事なあかし
1年 鈴木 碧維

優しさで 心のとびら ノックして
2年 西原 悠夏

人権は 守られる義務と 守る義務
3年 内笹井 脩也

小室小学校

いいんだよ みんな えがおで あそべるせかい
1年 山本 颯音

すてきだね みんなのこせいは たからもの
3年 浅水 玲来

周りの目 気にすることない さあ進め
6年 白石 碧鈴

小針小学校

大すきだ なかよくなろう ともだちと
1年 岡部 凧紗

ぼくたちは 人それぞれで それがいい
3年 高木 柳

この社会 本当に平等? 考えよう
6年 本多 敦喜

南小学校

おもいやり やさしくおしえる たすけあい
2年 柿沼 優那

とどけたい うれしい言葉 だれにでも
4年 古川 なつめ

かわいいぬいぐるみが好き プロ野球選手になりたい
この声 いったい だれの声?
5年 上倉 桐子

小針北小学校

だいじょうぶ いっしょにあそぼ うんいいよ
1年 山田 琉偉

だいじょうぶ? 君の気持ちに 気づきたい
4年 関口 侑芽

YesとNo 私が決める 心の線
6年 根岸 ひなた



編集後記



本年度は伊奈町総合文化祭の会場で、人権映画会を開催し、島崎藤村不朽の名作「破戒」を上映しました。参加者はあまり多くはありませんでしたが、参加された方の中には、名作の素晴らしさに感動するとともに、人権について改めて考える機会を得、これからも折を見て研修会等に参加したいと感想を語っていた方もおり、啓発活動の大切さを改めて感じました。今後も人権講座等の研修会を実施してまいりますので、日々の生活の中でお役立ていただけたら幸いです。

伊奈町人権教育広報

みどり

第56号

令和7年3月25日

編集と発行

伊奈町人権教育推進協議会

TEL.048(721)2111

伊奈町教育委員会内